



平成 27 年 8 月 7 日

各 位

会社名 片倉工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐野 公哉
(コード番号 3001 東証第 1 部)
問合せ先 企画部長 柿本 勝博
(TEL. 03 - 6832 - 0223)

平成 27 年 12 月期第 2 四半期累計期間における業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 2 月 13 日に公表した平成 27 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、同じく平成 27 年 2 月 13 日に公表した平成 27 年 12 月期通期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）業績予想を下記のとおり修正しますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 12 月期 第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績の差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	25,400	0	200	300	8 円 53 銭
今 回 発 表 実 績 (B)	24,347	△282	96	537	15 円 29 銭
増 減 額 (B - A)	△1,053	△282	△104	237	—
増 減 率 (%)	△4.1	—	△52.0	79.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 12 月期第 2 四半期)	24,280	1,087	1,412	758	21 円 58 銭

2. 差異の理由

売上高は、機械関連事業において消防自動車の出荷が一部下期に期ずれとなったことを主因として、当初予想を下回りました。営業損益は、減収に加えて、機械関連事業において外注費等の製造コスト増加により消防自動車の採算性が低下したため、当初予想を下回りました。

経常利益は、受取配当金が増加したものの、当初予想を下回りました。

四半期純利益は、不動産事業での開発に伴う解体費が一部下期に期ずれとなったこと等により、当初予想を上回りました。

3. 平成 27 年 12 月期 通期連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	50,000	700	1,000	500	14円22銭
今回修正予想(B)	50,000	450	1,000	500	14円22銭
増減額(B-A)	0	△250	0	0	—
増減率(%)	0.0	△35.7	0.0	0.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期)	44,428	404	890	268	7円62銭

4. 修正の理由

売上高は当初予想どおりとなる見込みであります。営業利益は、上期の減益の影響により、当初予想を下回る見込みであります。

経常利益・当期純利益は、上述の減益要因はあるものの、受取配当金の増加及び不動産事業での開発に伴う解体費が一部減少することもあり、当初予想どおりを見込んでおります。

以上

【ご参考】セグメント業績と予想

(単位：百万円)

	第 2 四半期累計期間 (実績)		通期 (予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
繊維	4,957	13	10,200	0
医薬品	7,352	△233	15,300	0
機械関連	6,852	93	12,800	350
不動産	3,971	751	9,000	1,850
その他	1,213	△65	2,700	△300
調整額		△842		△1,450
合計	24,347	△282	50,000	450

※ 当資料で記載している業績予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、不確実な要因に係る仮定を前提としています。したがって、実際の業績は、様々な要因によって、記載している内容と大きく異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。